

学校評価の結果について

(平成 29 年度)

学校法人旭川カトリック学園 砂川天使幼稚園

1. 本園の教育目標

学校教育法に準じながら、教育の根底をキリストの教えにおき、カトリック的な人間観に基づき日々の生活の中で、真理を求め、人を愛することに喜びを感じる心を育てることにある。人格形成の最も大切な幼児期に <お祈り・親切・がまん> をモットーに、祈る心、愛する心、ありがとうの心を育つことを願い、幼児にふさわしい環境を与えて、その心身の発達を助長することを目的としている

2. 本年度、重点的に取り組む目標・計画

本年平成 29 年度からの子ども子育て新制度の施設型幼稚園開始にあたり、砂川市社会福祉課と密接にしながら、補助教員を充実しこれまでより一層子どもたちにきめ細やかな保育を提供し質の高い保育を目指していく。また園全体の取り組みとして、昨年に引き続き遊びや行事を通し異年齢との交流をさらに深め、その中でカトリック教育の根本とする‘お祈り’の「ありがとう・ごめんなさい・お願いします」の心の教育を大切に子どもたちが様々な人と関わることにより成長することをねらいとする。また、保護者の理解と協力を得ながら地域の情勢を考慮し砂川市唯一の幼稚園としての役割を果たしていく。

3. 評価項目の達成及び取り組み状況

評価項目・目標	取組み状況
1. 保育の計画性 保育内容及び指導の在り方等を精査し、指導計画を策定し、教育内容の充実を図る。	<ul style="list-style-type: none">園の教育理念・教育目標の共通理解のもと、年間、月間、週ごとに保育計画を学年ごとに話し合い計画を立て、その結果と反省を職員会議で話し合い翌月の保育計画につながるよう努めている。週案を基に日々流動的な保育を行い、子どもの様子を踏まえ次週への課題・ねらいとしている。
2. 保育の在り方、幼児への対応 安全管理の徹底、幼児理解の向上、子育て支援その他の充実を図る。	<ul style="list-style-type: none">園舎内外の安全には十分留意し、毎朝、遊具等の安全点検を行い、職員全員で状況把握をし危険が及ばぬよう配慮している。古い遊具についての補修等は早急の対策が必要である。不審人物対策の施錠、保護者への連絡等については引き続き検討中である。職員全員が共通理解のもと園児ひとり一人の様子を把握し、教師間連絡を密にし、担任以外の園児にも対応していると共に異年齢との交流を大切にしている。
3. 保育者としての資質 保育専門家としての能力、姿勢、責任等資質向上を図る。	<ul style="list-style-type: none">職員全員が一つのチームであることを理解し、保育者としての意識と自覚と責任をもった言動で園児や保護者に接すると共に、子どもの心を大切に話をよく聞き、園児一人一人との信頼関係を築き園児の成長に繋げている。職員個々のスキルアップのため、引き続き専門性を高める研修へ積極的に参加する必要がある。
4. 保護者への対応及び家庭との連携 園児に関わる情報の発信と受信、保護者のニーズの把握に努め、要望や苦情に適切な対応を図る。	<ul style="list-style-type: none">毎月園便り、クラス便りを発行し園行事・連絡事項や園児・クラスの様子を保護者にお知らせしている。今後も、お知らせ等や子どもの様子がわかりやすく伝えられるよう心掛けていく。保護者からの相談や要望には職員会議等で提示し話し合いのもと真摯に対応をし保護者のニーズを把握し可能なことは要望に応じるよう心掛けている。今後も保護者に寄り添える対応をする。
5. 地域社会との連携 地域の自然や社会との関わり及び小学校との連携を図り、地域解放の努力をする。	<ul style="list-style-type: none">毎年行っている年長児の老人ホーム慰問は定着し施設に喜ばれ、また春、秋に行うあいさつ運動など園児にとっても様々な方々に触れる良い経験になっている。また町内の方に園行事の参加案内を行ったが、もう少し参加しやすい配慮が必要だった。毎年行われていた砂小5年生との連携は事情により急遽中止となったが入学児の引き継ぎの話し合いは年度末に行われた。今後それぞれの参観を行うなど幼小連携の基礎を作っていく必要がある。

<p>6. 研修と研究 研修・研究を積極的にを行い、専門性を高め、努力をする。</p>	<p>・保育の専門性を深めるためそれぞれ研修、研究への意欲を持ち研修会に参加する努力はしているが、なかなか時間が取れないのが現状である。次年度から毎年数名ずつ研修等に積極的に参加すると共に、研修内容を分かち合い園内研修の充実を図っていく。</p>
<p>7. 情報公開 保育の現状等や自己点検・評価の結果等を個人情報保護に留意しつつ、積極的に園便り等で公開する努力をする。</p>	<p>・園日より、クラス日より、園内写真掲示、地方新聞掲載等で保護者に園内活動をお知らせしている。また、学校評価結果においてもホームページ、園内閲覧で公表している。引き続き本園の特徴、良さ、教育目標の理解を深めていただき、より開かれた幼稚園を目指し情報公開に努め、地域に根ざした幼稚園づくりに努めていく。</p>

4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

<p>毎年の自己評価を通し、個々の改善点を認識し次年度に向けての課題として取り組んでいる。少しずつではあるが個々としても園全体としても反省点を改善しながら次年度へと繋がっているのではないかと思います。さらに次年度に向け、学期末ごとに自己評価の振り返りをしそれぞれが自己の反省点を認識し改善努力をしていく。それと共に今後引き続き学校関係者評価を真摯に受けとめ、実状と改善策を掲げ運営の向上と園の発展に努めることを目標としていく。</p>

5. 今後取り組むべき課題

課題	具体的な取り組み方法
<p>安全管理 ・緊急災害時の具体的な対策 ・防災用具の常備</p>	<p>毎月火災地震避難訓練を行っているが、現状の社会情勢を考慮し今後さらに様々な状況でも園児確認や避難場所、保護者への通達方法を明確にしていく必要がある。また避難訓練を通して園児達に災害等に対応できる知識と行動について認識し身につけていく。防災用具の常備についても、防災頭巾は園児数常備し訓練にも用いているが、水・食料等についても検討し明確にしていく必要がある。</p>
<p>地域社会との関わり ・小学校との連携 ・子育て支援</p>	<p>今年度に引き続き幼稚園児を中心として、次段階の小学校入学のため小学校との連携がとれるよう具体的な方法を話し合い、小学校へも理解を求めていく。また、入園前の未就園児や保護者に対しての子育て支援（ひよこルーム、園庭開放等）のあり方を、より機能的になるように職員間で話し合い共通理解を深める。</p>
<p>教員の研修と園内研修</p>	<p>本年度より施設給付型の幼稚園への移行にあたり、質の高い保育を目指すという観点から、保育者一人ひとりが研修を重ねキャリアアップが必要となる。そのため園内研修を充実しよりよい保育を提供し、保護者に施設給付型の幼稚園に移行したことで子育て支援を十分に受けられている実感を持ってもらえるよう、幼稚園や教職員を信頼してもらえるように職員の保育者としての資質と技術の向上を目指していく。</p>

6. 学校関係者の評価

<p>本園は砂川市唯一の幼稚園ということで入園する場合が多い。教育内容については、子ども同士の関わり・保育者が厳しくも愛情のある関わり・幼稚園と保護者との関わりを適切に行うことにより、当幼稚園の根底である心の教育「キリスト教精神に基づいたカトリック教育」について保護者の理解を得られている。また「子どもがのびのびと成長している」との意見もあり、教職員に対しての評価や子どもや保護者の対応についても信頼度の高い結果を得ることができた。これからも園として保護者の多様な思いを真摯に受け止め、今後の園運営の参考にしていきたい。また社会情勢を踏まえながら、今後さらにカトリックの精神を生かし現状に留まることなく新しいことにも目を向け、子どもの心を大切にすより向上する保育に努めていきたい。</p>
--

7. 財務状況

<p>大手監査法人である太陽ASG有限責任監査法人（東京）の監査を受け、適正に運営されていると認められている。また、法人本部の財務状況報告により効率的な運営に努めている。</p>
